

校長室だより 夢に向かって輝く児童の育成

No.49

令和2年10月13日 文責 校長 林 寛



10月に入り、朝夕は肌寒く感じる日も増え、過ごしやすくなってきました。気がつくと令和2年度も折り返しになり、各学年とも残り半年を切っています。コロナ禍で、臨時休業になったり、学校行事が縮小や中止されたりしている中ですが、子供たち同士、先生と子供たちの結びつきを大切にしながら楽しく学校生活が送れるように、ご協力ください。

バス旅行・修学旅行

感染症予防対策により新しい形を模索しながらのバス旅行になりましたが、どの学年も当初の予定

通りの内容で、元気に帰校することができました。

私は6年生の修学旅行について行きましたが、長崎に到着してすぐに、毎年お世話になっている八木道子先生の被爆体験を聞きました。八木先生の話をも身を乗り出して聞いていた6年生たちは、先生の話から受け取った「平和のバトン」を吉野ヶ里町に戻って、いろいろな人に引き継いでくれると思います。「だまっても平和は広がらない」「他の人に話をすることで平和は広がっていく」という話にたくさんの子供たちがうなずいていました。

例年より旅行者が少ない長崎の街中でしたが、班ごとの計画に沿ってフィールドワークを実施し、平和や歴史、文化に触れることができました。子供たちだけの活動は、楽しそうではありますが、心配や不安、そして何より責任がのしかかってくる。そのようなプレッシャーをグループのみんなで乗り越え、計画を達成することを通して、友情が深まり、自信をつけて帰ってきたのではないのでしょうか。子供たちの成長を願い、実施についてご理解をいただき、許可をいただいた保護者の皆様に改めてお礼を申し上げます。



便利な道具だからこそ

町内の小中学校では、今年度中に一人1台のタブレット端末を整備するために準備を進めています。文房具や学習用具のひとつとして、タブレット端末が授業で使われるようになるのは間違いありませんが、便利な道具だからこそ、使い方のルールや使うときのモラルやマナーを正しく身に付けさせなければなりません。

ここ数年、スマホを介してのネットゲームへの高額課金、SNSでのいじめや誹謗中傷、情報漏洩（個人情報バラまき）、著作権侵害など子供たちが関わって起きるトラブルが数多く報告されています。最近では、横浜市で38歳の男が、ゲームの通信機能を使って呼び出した小学生女児を連れまわし、誘拐の容疑で逮捕される事件が起きました。

家庭でのルール作りやフィルタリングの設定の確認、学校でのパスワードの管理や有害サイトへのブロックなど、一度取り組んだからと言って安心はできません。便利な道具だからこそ、使う側の心を育てていくことも忘れてはなりません。

感謝を伝える

今回の修学旅行では、バスの中でのレクリエーションや、ホテルへの入退館式などの実施を見送りました。いつもは、旅行中にお世話になった方々に感謝の気持ちを伝える場があるのですが、それができませんでした。それでも6年生の中には、ホテルの部屋に感謝の言葉をメモで残したり、帰校後にバスの運転手さんにお礼の品物を渡したりした子供がいました。6年生の気持ちがきっと伝わったと思います。



引き続き、毎朝の登校前の健康観察と検温をお願いします。